

令和２年度 第３回府中市スポーツ推進計画検討協議会

日時：令和３年１月１９日（火） 午前１０時から

開催：府中駅北第２庁舎 ３階会議室

形式：Web 会議（CISCO Webex Meetings）

出席者：

＜委員＞

朝日マヤ、植竹照雄、植田悠太、佐藤美枝子、佐藤光宏、高峰 修、田口祐貴、
本田純子、吉松久美子（五十音順、敬称略）

＜事務局＞

文化スポーツ部長（関根）、スポーツ振興課長（市ノ川）、スポーツ推進係長（西井）、
スポーツ振興課職員（高森）、株式会社創建（大谷、本多）、建築施設課文化・スポーツ
施設老朽化対策担当主幹（後藤）、文化・スポーツ施設老朽化対策担当主査（奥）

欠席者：

＜委員＞

小島壽一郎（五十音順、敬称略）

—開式—

○会長

こんにちは。本日の委員の出席状況を事務局からお願いします。

○事務局

こんにちは。本日はお忙しいところ、本協議会にご出席を頂きましてありがとうございます。

本日の出席状況でございますが、委員定数１０名の中、現時点で８名のご出席を頂いております。朝日委員もご出席ということになっております。後ほどご入室があると思いますので、よろしくお願いいたします。

府中市スポーツ推進計画検討協議会規則の第４条の２項に基づく過半数のご出席がありますので、定足数を満たしておりますので、本日の会が有効に成立することをご報告申し上げます。

○会長

ありがとうございます。お手元のレジュメに沿いまして進めてまいります。

—会長挨拶—

○会長

それでは、2 文化スポーツ部長からの挨拶をお願いしたいと思います。

—文化スポーツ部長挨拶—

○会長

ありがとうございます。それでは、次に進みたいと思います。3 事務局の報告について、お願いいたします。

○事務局

事務局から説明をさせていただきます。

まず本日の配付資料の確認と傍聴希望者についてご報告をいたします。本日の資料でございますが、事前に郵送いたしました、参考（非公開）「第2 回府中市スポーツ推進計画検討協議会の議事要旨」、資料1 「府中市のスポーツ推進の現状」、資料2 「府中市スポーツに関するアンケート調査報告書」、資料3 「計画骨子の策定にむけて」です。

以上でございます。

なお、資料2 について、内容に訂正がございます。訂正は1 ページ目の（1）の調査概要のところ、5 点ございます。まず①の市民向け調査のところですが、回収率のところ、1, 0 0 9 となっているところ1, 0 1 1 に訂正します。続いて、回収率について、5 0. 4 % を5 0. 5 % に訂正します。続いて、子ども向け調査です。配布数について、小学校5 年生に向けた配布数を8 6 2 件、回収率を7 3 2 件に訂正します。最後に、中学2 年生に向けた配布数を8 2 4 から8 7 9 に訂正します。

なお、訂正の内容についてですけれども、資料の説明の際に改めてご説明いたします。

続きまして、本日の傍聴人について、1月11日付の「広報ふちゅう」で募集いたしましたが、本日の傍聴希望はございません。

以上です。

○会長

会議資料確認と傍聴人についての報告でしたが、何かご質問などございますか。

ご質問がないようですので、4の「議題」に移りたいと思います。報告事項1「第2回協議会の振り返り」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、第2回協議会の振り返りについてご説明をいたします。お手元の参考資料「第2回協議会議事要旨」及び「第2回協議会の報告」とともに、事前送付いたしました「第2回協議会議事録」を御覧ください。前回の協議会では、市民向け及び子ども向けアンケート調査案について、協議・検討を頂き、決定した内容を踏まえてアンケート調査を実施いたしました。

なお、第2回協議会議事要旨は、委員の皆様の個人名が記載されている資料であることから、第1回に引き続き非公開資料として取扱いをさせていただきます。また、第2回協議会の報告と併せて送付いたしました第2回協議会議事録は、録音した会議内容を文字起こした資料でございます。本日の会議にて内容確認の上、府中市ホームページ等で公開を予定しておりますので、誤り等ございましたら事務局までお申しつけください。

以上です。

○会長

いかがでしょうか、何かご質問等はございますか。

それでは報告事項2「アンケート結果」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、事務局から、資料1、資料2について、一括でご説明いたします。

初めに、お手元の資料1「府中市のスポーツ推進の現状」をご覧ください。府中市のスポーツ推進の現状では、市のこれまでの取組とともに、前回までにご審議いただいたアンケート調査を実施し、その結果から分析した市民・子どもの意識についての概要をお示ししております。

最上段の「市のこれまでの取組」についてでは、第6次府中市総合計画での位置づけや、右の表にあるように事務事業評価における指標の評価を、また令和元年9月に実施した第51回市政世論調査において、1週間に1回以上スポーツをする市民の割合について57.2%であったことなど、その成果をお示ししております。

次に、この資料の基となりますスポーツに関するアンケート調査については、令和2年9月29日から11月12日にかけて実施いたしまして、市民対象者、発送数2,000通、回答数1,011通、回収率は50.6%でございます。

また、子どもを対象とした調査は、市立小中学校にご協力いただき、学校に直接送付の上、ご回答を頂きました。内訳といたしましては、市立小学校5年生、回収数732通、市立中学校2年生、回収数762通でした。

それではアンケート結果の概要をご説明いたします。まず市民の意識について、ご自身について心身ともに健康だと思っている方は86.6%、コロナ禍でスポーツに対する意識や行動が変化した方は40.4%です。

続いて「する」スポーツについて、成人の週1回以上のスポーツ実施率はコロナ禍以前59.8%、コロナ禍以降60.8%です。スポーツや運動をした理由は、運動不足解消のためが最多の69.2%となっています。コロナ禍以降スポーツ実施にインターネット上の動画を参考にした方は29.4%です。スポーツや運動の妨げになっているのは、時間的な事情が最多の52.2%、現在スポーツを実施しておらずこれから先もするつもりがない方は24.7%です。

続いて「みる」スポーツについて、コロナ禍以前の1年間で週1回以上スポーツ観戦をした方は27.8%です。この1年間府中市を拠点に活動するトップチームのスポーツ観戦をしていない方は64.2%です。今後スポーツを観戦するために必要なことは、無料

招待日や地域住民割引などの特典の充実が最多の61.8%になっております。

続いて「ささえる」スポーツについて、ボランティア活動を実施したことがない方は93.4%です。ボランティア活動を実施・継続するためのきっかけや動機づけについては、好きなスポーツの普及・支援が最多の30.7%になっております。

続いて、スポーツに関する情報について、スポーツタウン府中を知らない市民は79.7%、スポーツ情報の入手先では最多は「広報ふちゅう」で37.3%、スポーツ情報で知りたいことで最多は健康や体力づくりに関する情報で37.1%です。

続いて、障害者スポーツの振興について。関わったことはないが91.1%です。

続いて、市に今後力を入れてほしい施策について、最多は身近なスポーツ参加の機会を増やすが29.4%です。

続いて、子どもの意識についてです。外遊びが好きな割合と運動やスポーツをすることが好きな割合は、年代が上がるにつれて低下しています。スポーツを実施する頻度は、年代が上がるにつれて増加をしています。現在、スポーツを実施しておらず、これから先もするつもりがない方は小学生が12.9%、中学生が17.3%と、年代が上がるにつれて増加しています。家族と一緒に運動やスポーツを実施する機会を増やしたい小学生は64.6%、中学生は45.4%です。ボランティアなどの経験は年代が上がるにつれて増加をしています。

資料1、裏面の参考資料は、第1回の資料4でもお示しした内容ですが、府中市スポーツ推進計画を取り巻く現状についてまとめております。

最後に、資料2、府中市スポーツに関するアンケート調査報告書ですが、アンケート回答を単純集計した結果です。概要は資料1にお示ししております。

なお、冒頭で訂正した内容につきましては、一般の方、小学生の方ともに回答者の扱いが加味されていなかったことによるものですが、一般的に有効回答とならないものとのずれとなっております。いずれも有効回答数に影響はございませんので、冒頭訂正箇所のみ修正となります。詳しくは後ほど支援事業者の創建さんより説明をさせていただきます。

事務局からの資料説明は以上ですが、この後、クロス集計等につきまして創建からご説明、補足をお願いします。

○創建

基本的にアンケートの概要については、今、事務局のほうからご説明いただいたものになるのですが、訂正点と今後どう分析を深めていくかについて、簡単にご説明をさせていただきたいと思います。

まず1点目、訂正に関して、市民向け回収数は1,011ですが、白紙でほとんど回答がない調査票を2件除くような形で、有効回答数1,009でアンケートの集計分析を進めてまいります。同様に小学生のほうも、集計に加味できない調査票が複数ございましたので、除いた723件を有効回答と認めて集計分析を進めます。

アンケート報告書の冒頭、調査概要のところ、回収数と有効な回答数に分けて、それぞれの数値を記載するよう報告書を訂正させていただきます。

続きまして、今後の分析の方針や、現在同時並行にて実施しているヒアリング調査の現状について、情報共有させていただきたいと思います。

まずクロス集計に関して、今回、特にポイントとなる数字が、まずは市民の週1回のスポーツ実施率です。こちら前回ご意見いただきながら数字を出していったところ、令和2年3月31日まで、便宜的にコロナ前までの主な数字というものが59.8で、4月1日以降、いわゆるコロナ禍に該当する部分で少し実施率が上がってきています。また、いずれにせよ令和元年9月の市政の世論調査で見られた57.2%という実施率からは数字が上がってきています。特にコロナ禍において少し上がっていると捉えております。これは恐らくウォーキングや、1人でするスポーツが増えてきたであろうことから、実施率に関して年代ですとか性別、あと年代と性別を合わせたクロス集計・トリプルクロス集計の分析準備を進めております。

また、資料1の市民の意識の■の2つめ、「する」スポーツについての○の一番下ですね。「現在、行っていない、また、これから先もするつもりがない」方が24.7%いらっしゃいます。これ、東京都の計画でも言及されていましたが、スポーツに関するいわゆる無関心層です。今、やっていなくてやる気もない、そういった方に関しても性別、年代別のクロス集計、またトリプルクロス集計というのを深掘りしていったら、例えば女性のどれぐらいの世代の方が特に今やっていなくて、さらにやらないのかということを見ていきたいと考えております。

これはリンクするような形で、子どもの意識調査の○の3つ目ですが、「現在やっていないくて、これから先も、するつもりはない」回答が、小学生で12.9%、中学生で17.3%ありました。この辺、年代別というのは小中でもう既に分けられているので、さらに性別でのクロス集計を行います。女子中学生でスポーツをしなくなる方が増えるという一般論もありますので、クロス集計していくことによって、府中市の小中学生の子どもの意識がどうなっているか今後分析していきたいと考えております。

それ以外にも、事務局と調整しながら、まずは年代別に特にやる意識や行動がどう変わっていくかを主軸に置いてクロス集計分析をしていきたいと考えております。

次に、ヒアリングに関しての状況報告です。やはりコロナ禍においてスポーツをやりたいのにやれなくなったという人が多いという声が、共通してお伺いできているところです。地域体育館が地域のコミュニティの場として機能している中で、利用者がある程度固定されてきていることから、無関心層にせよ関心層にせよ、スポーツをやりたいと思っている方のきっかけづくりに対して、どうアプローチしていいのか分からないという声も多くあります。今後、スポーツ実施率や、いわゆる無関心層というのが数値として出てきて、ヒアリング中で、やりたいと思っている人の意向にどうスポーツ団体からアプローチしていったらいいのか等が、恐らく課題かという印象です。

府中市においては総じてスポーツ関係団体や、いわゆる市民協働に関わる方々がかなり広く活動されて見えるので、いろいろな資源はあるようです。横のつながりもうまく構築して活かしていきながら、やりたいと思っている人を引き込んでいくことで、実施率を上げるというのも1つになります。スポーツを楽しむ人というのを増やしていきたいということが、お考えの根底には共有されて見えます。今後はヒアリングとアンケートを基に、今後の計画の課題ですとか、大きな方向性と取りまとめていきながら、協議会にてご意見を頂いて、計画の骨子を今後組み上げてまいります。

調査の状況報告は以上になります。

○事務局

補足については以上です。皆様から率直なご意見を頂戴できればと思います。

○会長

報告ありがとうございました。まだ整理がつかないところもあるとは思うのですけれども、調査については市民・小学生・中学生向けがあります。調査回収率は今までと比べて特に今回、高かった・低かった等がありますか。

○事務局

まず小中学生向けにつきましては、直接学校にご協力いただけたので、通常回答いただくより回収率は高かったです。お配りした調査票については、当日ご欠席された方や、様々な事情で学校に来ていない方を除いてほとんど回収できました。

市民向けにつきましても、通常ですと5割よりも少ない数字になりますが、今回は高い回収率で有意義な調査だったと捉えております。

○会長

一般的に郵送等だと4割とか、ひどいと3割とかの回収率もありますので、今回は多いように感じます。

それでは、何かお気づきの点等がございますか。

○委員

小学生のアンケートの内容で、障害者スポーツに関わった競技の種類や、パーセンテージが非常に高いので驚きました。学校でオリ・パラ教育等を利用して、小学生に障害スポーツを普及しているのですか。

○会長

報告書の28ページ小学生向けの問12に「あなたは障害者スポーツに関わったことがありますか」の数字が高いことの、この背景に何かあるのかということです。

○事務局

市としましては、ボッチャの普及に力を入れておりますので、その辺りが非常に高い数

字に反映されたのかと考えます。各地域体育館でもボッチャができる環境も整えておりますし、スポーツ推進員の皆さんにもご協力いただいています。また昨年は市町村大会をボッチャはやったことで、様々な方に実際に関わっていただけたのかなと思っております。

以上です。

○委員

ありがとうございます。

○会長

障害者スポーツを実際に行った42%、ボッチャが65%ですので、非常に経験率が高いように見えます。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

今のお話について、イベントによって予算額は違いますが、東京都もしくは文部科学省から予算配当されて、前年度は10万円、主に報償費ということでオリンピックを招いて話を伺う等、実際にその競技を体験するという取組をほぼ各学校が取り組んでいるということもあり、この数値は高いと考えます。

体験として選ぶのが車いすバスケット、ブラインドサッカー、ボッチャの3つが多いと思っています。そのため学校で取り組んだものについても、その辺が反映されているのかなと思います。

以上です。

○会長

ありがとうございます。学校現場の情報を提供いただきました。今、小学生向けの障害者スポーツとの関わりについて話題になっていますが、それ以外のことで構いませんので、何かございますか。

では、私からも1点伺いたいのですが、先ほど創建からの説明で、「する」スポーツの実

施率が、今回 59.8、前回 57.2 という数字を紹介していただきました。前回との比較で、現在スポーツを行っていないくて、この後もするつもりはないという無関心層の割合はどのように変化しているか、分かりますか。

○創建

前は全体的な世論調査に、行動変容に関わる設問の項目がなかったようで、比較ができない状況です。

○会長

今回、初めて把握できた数字ということですね。25%近くという数字は高いですか。

○創建

弊社で支援する自治体では、少し高いのかという印象です。

○会長

この方たちの属性、例えば高齢者なのか等、是非示していただきたいと思います。

○創建

はい、クロス集計分析していきたいと思います。

○委員

今のところ、スポーツをするつもりがないという方が25%近くです。一方で今現在、実施されている方が60%という、伸びしろは15%ぐらいなのですね。この伸びしろの部分、どういう特性を持っている方が分析し、15%をどうやってプロモーションするかということが非常に重要かと思っています。この辺をクロス集計等を出していただきたいと思います。

○創建

まさに今後の計画議論のポイントになってくるのかなと考えております。いわゆるやりたいけどやれていないという関心層と、やる気もない無関心層とあって、実施率、より多くの市民の方がスポーツを楽しんでいただくために、関心層にアプローチするのか、無関心層を行動変容させるのか、どの辺に力点を置くのかというのは特に計画の中で重要になってくるのかなと思います。

○会長

そのほかいかがでしょうか。

○委員

コロナ前後で変化がありましたかというところでも、皆さんからの自由記入欄の意見を読んで、スポーツをしていた方はやりにくくなったという意見があって、逆にやっていなかったが運動不足を感じて意識的にスポーツをやってみようと思ったという方が結構いらっしゃるのだなと感じます。なかなか体を動かさない、運動不足の解消、健康、体力づくりが皆さん気になっているものなのだなと感じました。

○会長

まさにそうですね。数字だけだと59.8から60.8に1%上がったということです。その背景には、今までやっていたのだけどできなくなった方と、今までやっていなかったのだけどやるようになった方と、やる内容が変わったとか、いろいろな背景があって、数字としては1%の増加ということです。その背景の部分も視野に入れながら、対策等は考えていかなければいけないと思います。

○委員

資料1で、市民の意識の中で、市に力を入れてほしい施策というのがございます。その中で身近なスポーツ参加の機会を増やすというのが一番多かったです。一方で子どもたちの意識の中には、小学生も中学生も半分以上の方が、おうちの方ともっと多くやりたいとあり、この辺が1つの鍵になるのではないかと思います。

○会長

そうですね、特に小学生では、もともと親と一緒にやる機会について何か考えておくということも大事だと思います。市に力を入れてほしい施策としては、身近なスポーツ参加の機会を増やすが3割弱、情報としては健康や体力づくりに関する情報が37%のニーズがありますので、是非この点事務局でちょっと押さえていただいて、次回の骨子に反映させていただきたいと思います。

○委員

例えば地域体育館で、みんなのスポーツデーというのがありまして、みんな無料で参加できます。運営協議会でもいろいろな企画を立てて、みんなに自由に参加してもらえるような機会は作っているのですが、どうしても大人は後ろに引いてしまって、子どもを遊ばせる場としてしか考えていないようです。みんなのスポーツデーは、10月にやるのですが、もっと広くいろいろな人に知ってほしいなと思っていて、例えば周知するための旗が道路からは見えないので、みんな目につく場所に置いてほしいと思っています。

旗が立っているだけではなくて、その旗は何なのだろうと見てほしいと思うのです。

もう1つ、各体育館に掲示板というのがありますが、今日はこれをやっているよ、見においでという誘い込むものが全く見られないと思っています。

以上です。

○会長

ありがとうございます。市民の方に運動・スポーツ関わっていただく、そういう機会は既にあって、いかに情報を提供していくか、広報に関わってくると思います。それについては、スポーツタウン府中についてどれぐらい知っているかというのを項目に含めたいのではないかとアンケート実施し、その結果が今回出ましたけれども、知らない市民が8割ぐらいですね。行政のほうで一生懸命いろいろやっているコンセプトがなかなか市民のほうに届いていないということもあって、その中にそういう実際の事業がまだ知れ渡っていないということになります。

○委員

単なるお知らせではなくて、どんどん突っ込んでいくというか、もっと市民が足を向け易くする感じになってほしいと思います。

○会長

ありがとうございます。いずれにせよそういう機会がどれぐらいあるかということと、その広報を広報紙だけに載せているのか、または小中学校まで情報が行っているのか、調査して展開していく余地があるかもしれません。広報の問題はとても大事なのではないかと私も考えております。

○委員

私も広報というのは非常に大事かと考えます。特にスポーツタウン府中というのは府中市のキャッチフレーズのはずなので、皆さん知らないというのは非常に残念だと思います。

それともう1つ、「する」「みる」「ささえる」という3つの柱がございますけれども、「ささえる」が非常に弱いと感じます。93.4%の人がボランティア活動もやったことがない中、ボランティア活動について、やり方というか、いろいろな仕組みがあると思います。ボランティア等、何か直接行動しないと表に出ないではなくて「ささえる」ですので、いろいろな支え方があるかと思います。この辺は「ささえる」スポーツのところの仕掛けを何か作っていかないといけないのかなという印象です。

○会長

とても貴重なご意見かと思います。ですので「する」人たち、「みる」人たち、「ささえる」人たちをいかにリンクさせるかですね。これはやっぱり大事な視点です。「する」「みる」「ささえる」という中で、それぞれが独立した柱ではなくて、関連させながら発展させていくような、そういう仕組みはやはり必要なのではないかと思います。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

障害者のスポーツに関わったことがないという方が90%以上というのは、皆さん、資格を持たないと駄目なのではないかとか、障害を持った方に接するに当たって、普通の方とは違うというような感じでいて、引っ込んでしまうのではないかなと思います。あと「ささえる」スポーツでボランティア活動を行ったことがない人が93.4%、これもやっぱり専門的な知識がなかったら駄目なのかとか、そういう自分サイドの線を引いてしまうのかもしれない。

以上です。

○会長

今のお話は報告書ですと18ページの問19に「あなたは障害者スポーツに関わったことがありますか」という設問があって、関わったことがない方が91%ということですね。競技に関してはやはりボッチャ、車いすバスケットが高いようです。ボランティアとか、障害者スポーツに関わるということイメージにハードルが高いのではないか、そのためそれを和らげるような施策が必要ではないかなという趣旨だったかと思います。

○委員

障害者スポーツに関してなのですが、「ささえる」ところで、障害のある方がスポーツをする上で普通に支えてもらえればできる方たちもいます。うちの障害者センターに通われている方でも、片麻痺の方が最近卓球をやっています。最初は小さいテーブルでやっていたのを、今は普通の卓球台でやっているのですが、職員のほうが下手で、片麻痺の方のほうが上手にできています。一緒に楽しむというか、ちょっとだけお手伝いいただければ大丈夫という方がたくさんいらっしゃるの、何かそういうところの理解が深まるといいなと思います。

○会長

障害者のスポーツについて、まず情報自体がほとんど知れ渡っていないのかもしれない。今のお話を伺うと、例えば施設職員の方が自分よりもうまい障害者プレーヤーのラリ

一の相手になるというのも非常に役に立つといいですか、関わることになると思います。

そういう場があるということを伝えるだけでも違うかもしれません。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

アンケート調査の１４・１５ページに、トップチームのアンケートが載っているのですが、このアンケートを御覧になって、どのような感想をお持ちか、お聞きしたいと思います。

○会長

報告書ですと、１３ページぐらいから始まっているトップチームの話です。１４・１５ページ辺りに統計がありますが、いかがですか。

○委員

サントリーのラグビーチームという立場でいうと、去年リーグ戦が中断してしまったので、試合を見る機会というのがありませんでした。去年１月に開幕して、２月２２日が最後の試合になってしまったというところで、残りの約１０カ月プレー機会がなかったという状況です。

なかなか公式の試合が府中市内で行われるということがなくて、全国各地でやっている中で、都内の近いところだと秩父宮ラグビー場という外苑前まで行かなければいけません。我々もできるだけ１試合でも味スタでやりたいと思っているのですが、なかなかＦＣ東京との兼ね合いもあり実現できていません。要は市内でトップチームの試合を見る環境というのが整っていないくて、多分それはバスケも一緒です。アルバルクも府中アスレティックも立川でやっています。トップチーム所属は多くあるのですが、市内で公式戦の開催というのが、現状できる施設がないというのが１個ネックにはなってくと思います。距離のハードルがあると思います。

○会長

そうですね、観戦をしたことがあるかということについては、スタジアムの問題があって、アクセスの時間等も、また料金等もあるかもしれませんし、試合自体が今年度は少なかった、なかったということも大きいです。

この項目は小学生、中学生にも聞いています。観戦は置いておいて、トップチームがあることを知っていますかという数字を見ると、13ページ成人ですと、ラグビー・サッカーについては6割から8割近くの人が知っている。それが中学生44ページでは、ラグビーチームは3割ぐらいです。サッカーチームは、東京FCが6割です。これが小学生25ページにでは、中学校と割合が同じぐらいでしょうか。この辺りまだ伸びしろがあるのではないかなという気がします。まず存在を知らない試合を見にいこうという気にもなりません。

また、府中市で試合を見るというのが難しくても、何かそこにつながるようなイベント等があると、人を会場のほうに誘致できるような方法もあるのかもしれません。

これは例えばトップチーム・各クラブチームだけの課題というよりも、市としてプロチームがせっかくあるわけですから、市民のスポーツ活動をどう関わらせていくか、そういう視点で何か展開できればと思いました。

そのほかどうでしょう。

○委員

スポーツチームや施設が豊富にあるのですが、横のつながりを強化していく必要があるのではないかと感じています。

今、小学生の陸上のスクールを運営しているのですが、府中市の中だけでも5、6チームあります。ただ、この5、6チームに横のつながりはなく、各々がそれぞれ勝手にやっているだけなので、そこが協力してつながるだけでも、陸上という世界がもっと広がるのかなという思いです。そして、報告資料の間8でスポーツ、運動することで妨げになっている回答が時間的な事情というところに関して、もちろん既に行っているものもあると思うのですが、イベントを市と企業とスポーツ団体とが組んで実施することができれば、市のスポーツと関われる大人の方も、増えていくのではないかと感じました。

以上です。

○会長

何か新たにということもそうなのですが、今ある事業とクラブをいかにタイアップしていくか。それに行政と企業も関わっていくというご意見でした。非常に大事な視点かと思います。

では、次の協議事項3「計画骨子の策定に向けて」に移ります。事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは協議事項3「計画骨子の策定に向けて」についてご説明させていただきます。資料3をお手元にご用意ください。まず1ページ目の現行計画における定義、基本理念、基本視点について、及び2ページ目の現行計画の体系図は、第1回協議会でお示しした内容ですので、詳細な説明は割愛させていただきます。

次に3ページ目をお開きください。まず1「検討に当たって（案）」では、今後、計画の骨子を協議・検討していただくに当たりまして、内容の整理をしております。

①計画の構成を変更するでは、現状計画が理念－視点－施策－取組としている構成を理念－目標－施策－取組と変更するとともに、推進体制を推進体系に記載することを検討しております。なお、変更の理由は2から4でご説明しております。

②では、府中市総合計画を参考に、現行計画の取組を基本施策と取組に整理いたします。

③では、現行計画の施策を基本目標に置き換えます。

④では、スポーツを活用した地域の魅力向上並びにまちづくりの観点から、新たに基本目標を設定しております。

続きまして2「体系案のイメージ」では、1でご説明いたしました内容を基にイメージを作成いたしました。理念、目標、施策、取組の構成をそれぞれ当てはめております。

最後に4ページ、5ページ目は、先行事例として町田市並びに江東区の事例をお示ししております。

事務局からの説明は以上になりますが、支援事業者より補足いたします。

○創建

今、事務局からご説明したとおり、資料3の2・3ページ目です。基本理念というものに見出しを整理し、基本目標、基本施策という見出しを作って、骨組みというのはよりシンプルな体系にしてはどうかと提案いたします。

また、資料3の4・5ページ目です。最近の事例を2つばかり載せております。特に両自治体の計画の4番目です。一義的にはスポーツ実施率を上げていくというところが大きな方向性として計画の中では挙げられていくのですが、それに当たって楽しむ機会を作る、参加の機会を作るというのがスタートとしてあります。スポーツを支える人を増やしていく、横の連携を強化していく、可能であれば施設を整備するという手法があると思います。スポーツの環境を充実していくというのが1・2・3で整理されていく中で、4番目の柱を提案します。東京都の計画でスポーツの力、魅力、単にスポーツをするだけではなくきっかけにして何ができるかと考えたときに、府中市において様々なスポーツのリソース、取組、団体の横のつながりを活かしながら、地域の魅力向上や、まちづくりを4番目に掲げて、ひいてはスポーツタウン府中の実現につなげていくという体系にしてはどうかと提案をいたします。

あと基本施策というボックスに(1)(2)(3)と整理しているのですが、【新】【統合】【移動】と記載しています。これは2ページ目、現行計画の体系をある程度踏襲しつつ、例えば基本目標1の基本施策(3)では、学校との連携をより強化していくことで、子どものスポーツが大人になったときにどうなっていくのかという視点です。年代が上がるにつれて、いわゆる無関心層の割合が増えているという状況もありますので、まず子どもの頃から好きになって楽しんでもらって続けるために、柱として誰もがスポーツに関わる機会を充実していくことを基本目標の1で掲げて、公立小中学校に限らず、場合によって高校、大学、障害者学校との連携を強化することを1つ基本施策として入れてはどうでしょうか。それと基本目標4のところ、基本施策に3つとも【新】としています。障害のある方を支えるということも、交流・知ることだけで、スポーツの実施につながっていくということであれば、スポーツをきっかけにして交流を促進していくことで、地域のコミュニティを醸成していきます。地域体育館の役割でもあろうかと思うのですが、交流を促進してコミュニティを醸成していくことで地域の魅力を向上し、ひいてはスポーツタウン府中の実現につなげていくということです。

(2) では、広報についてご意見もありましたが、スポーツを活用してシティプロモーションをしていきます。もちろん施設ができればベストかもしれないのですが、イベント開催でまちの魅力につなげていくという取組というのも、施策の柱として整理をしてはどうかということを行っています。

また(3) では、より市内のトップチーム等と連携強化して、スポーツの力というのを使って地域コミュニティを醸成していく。こういった柱立てというのを提案しております。

現段階では、この柱はどうだという議論について、かなり情報量があって難しいと思います。大枠で、まずやる人を増やして、その中でいろいろな関わりしろを増やしていき、地域の魅力向上を柱に掲げていながら、府中市のスポーツ推進というのが今後より中身を詰めていければと考えています。

過不足ある視点や、こういう考え方は大事だと思う等、例えば町田市、江東区の計画骨組みもご参考いただきながら、また現行計画の柱もご参考いただきながら、ご意見を頂ければと考えております。

資料1の2・3ページにも、国・都の計画や、いわゆる障害者活躍に関連するスポーツ分野の計画というのも第1回協議会に引き続き記載しております。こういったところから日頃の活動の中で大事にされている視点に対してご意見いただきたく、よろしくお願いいたします。

○会長

資料3について説明いただきました。資料3の3ページの2に、体系案イメージというのがありますけれども、具体的に骨子の叩き台といいますか、ベースになるのかもしれませんが。今日いただいたご意見、肉づけ等していくとなるのではないかと思います。そういった意味では非常に重要な、大事なものになります。まだイメージがよく分からないという方もいらっしゃるかもしれませんので、質問を含めてご意見いただければと思います。

○委員

我々のチームは今、ほかの自治体とも地域課題の改善にコーチやチームを役立てていただく形で取組をしていて、同じようなケースでは、大体どこの自治体でも、今こういう時

代なのでSDGsに絡めて設定をしたがるケースが結構多く、特にSDGsの目標の3番目、健康、団体によっては6番にジェンダーとかあるのですが、このジェンダーは男女だけでなく、年齢だったり障害がある方と健常者というところの解釈にして、そういう要素を盛り込んだりということもあります。何か全部でなくていいと思うのですが、1から4がある中でどこかの項目の中に、SDGsを意識した書き方をしたほうがいいかというのがあります。

○会長

とても貴重なご意見かと思います。SDGsは、国連が示している持続可能な開発目標で、各国の政府または自治体、これは企業も含めてですけれども、それぞれの施策をするときにこういう点に配慮しながらやっていきたいと思いますという方針です。全部従わなければいけないわけではないのですけれども、多くの国、多くの自治体、多くの企業、かなり意識して今、取り組んでいる状況です。その視点を入れるというのはすごく大事な話かと思います。

例えば、これについて創建では、何かほかの自治体で取組状況の事例というのはあるのでしょうか。

○創建

ケース・バイ・ケースです。自治体によってはいわゆる基本計画で触れられているケースがあるかと思います。その場合、スポーツ推進計画でも触れるというケースがあるので、全体の方向性にも関わってきます。

SDGs自体が大きな話なので、例えばジェンダーというのがどこまでという話で、例えば今後地域体育館のトイレ整備をしようという話になったときに、誰でも利用できるというのはSDGsにもリンクをしてきます。個別の中でうまく解釈して落とし込もうというケースもあろうかと思いますが、全体の方針から反映するというケースもあろうかと思っています。そこはスポーツ振興課単体というよりは、市全体の流れを酌み取りながらやっていくべき内容かと考えています。

○会長

情報ありがとうございます。府中市自体のSDGsへの取組とも関係しながら視点としては可能な限り入れていくよう考えたいと思います。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

3ページの体系案のイメージですが、4番というのが、各市町村が非常に意識をして新しく取り組んでいるところで、それぞれの自治体の特徴が出るように思います。そういう意味では府中市の総合計画の中で「協働」というキーワードがあります。この協働を意識した何か基本施策があるといいかなと思います。1・2・3と、(1)(2)(3)とありますけれども、(2)でもいいのですが、キーワードを何か少し臭わせるような施策があると、より総合計画と府中市独自のスポーツ推進計画で、整合性が非常によくなるのではないかと思います。

○会長

市の政策との関係という意味で大事になってくるかと思います。これについて何か事務局から補足で説明等がありますか。

○事務局

おっしゃっていただいたことは非常に大切なことで、協働というキーワードは市でもここ数年来掲げています。総合計画もちょうど新しい次の計画に向けて、見直しておりますので、スポーツ活動と協働について検討していかなければいけないところもあります。先ほどのSDGsもそうですけれども、スポーツ推進計画の中でも散りばめられてくる言葉かと思っています。タイトルの中に入れるかどうかは別にして、考え方というのは基本的踏まえていくべきなのだろうと考えております。

以上です。

○会長

どれも非常に有効な貴重なご意見かと思えます。

○委員

そういう意味で、個人的なアイデアなのですが、府中市のスポーツの力を活用した地域コミュニティの醸成の中に、1つの基本施策の中に、『未来につながるスポーツ文化の形成』というフレーズが入ったらいいかと思えます。ここにはジェンダーの話等も含まれるのではないかと思えます。

○会長

イメージしている方向性としては、今のキーワードといいますか、キャッチフレーズでジェンダーの問題も含めて支持されていると思えます。

○事務局

ありがとうございます。まさにおっしゃっていただいている未来につながるというところにも関わってくるのですが、昨年度実施されましたラグビーのワールドカップですとか、オリンピック・パラリンピックからも出てくるレガシー、要は後世に引き継いで、未来につなげていく必要が出てきております。東京都のスポーツ計画等でもレガシーをいかに扱っていくか、いかに継承していくかというところが非常に重要になってくるので、その意味からも今回お示ししたこの4番のところに、トップチームとの連携ですとか、シティプロモーションとか、交流の促進とありますけれども、その中でこのレガシーをいかに扱っていくか、未来にどうつなげていくかというのは検討していきたいと思っています。

以上です。

○会長

そこにやはり障害者のスポーツなんかも含んでくるのではないかと思えます。

○委員

体系案のイメージの基本目標3の施策の(1)のところに、【移動】とあるのですが、こ

の意味合いについて質問です。

○創建

大きな枠は2ページ目の現行計画の体系を意識しております。身近なスポーツの場の考え方が、現行だと施策・取組になるのですが、大きな柱立てを移動させてはどうかという話です。現行計画では、2番目のスポーツ環境の整備と、3番目の身近にあるスポーツ活動の場の整備というのがあるかと思います。また、丸で学校開放運営事業の実施ですとか、地域体育館の管理運営というものがあるかと思います。ここが大きく環境の整備という場所にあったのですが、現行計画でいうと3番目のスポーツ施設の整備のような柱の、場の整備のほうに移動させたという考え方になります。

これは細かく1個1個全部ひもづいているわけではなく、柱の名前が変わってきた中で、大きな目的としては場の整備の充実のところ、こういった取組全体を移動させてはどうかということで、【移動】と記載しております。

○委員

ありがとうございました。

○会長

骨子の大事な話ですので、ご意見いかがでしょうか。

見返してみますと、先ほどのアンケートの調査の結果のところでご意見いただいていたポイントというのは、こちらの体系案のイメージで、3ページの下半分のところにも含まれてはいると感じます。例えば一番上の基本目標1の(2)障害者(児)スポーツ活動の普及ですとか、2の(3)スポーツ情報の発信強化ですとか、3の(3)民間活力の導入、さつき企業との連携とかありました。そして4の(3)トップチームとの連携強化ということで、ある意味先ほど出されたご意見もここに反映されているかなと感じます。

その他いかがでしょうか。

○委員

今後のことだと思うのですけれども、スケジュールの中でこういった形でこの具体的な取組の検討となっていくのでしょうか。

○会長

それは次の「その他」のところでご説明してもよろしいですか。

○委員

分かりました。

○会長

それでは検討事項の３番目はここまでにしたいと思います。

それでは、「その他」に移ります。事務局のほうから何かありますでしょうか。

○事務局

それでは、事務局から庶務事項についてご連絡します。第４回の協議会について、３月９日火曜日に開催予定とさせていただいておったところですが、事務局都合により開催が難しく、改めてこの場にて委員の皆様にご都合を伺いまして、日程調整をさせていただきます。

代わりの日程なのですが、３月１１日の午後３時からを候補とさせていただきたいと考えております。形式は本日と同じく Web 会議とさせていただければと考えておりますが、皆様のご予定はいかがでございますか。出席が難しいという委員の方がいらっしゃれば挙手にてお知らせください。

— 一次回日程調整 —

○事務局

そうしましたらこの時間で午後３時からの開催ということで、決定させていただきます。開催案内につきましては、改めて事務局からご郵送いたしますので、よろしくお願いいたします。

します。

事務局からの庶務事項について、もう1点ございます。

先ほど委員からもご質問いただいたところで、内容的な部分での今後の進め方の予定についてお話しいたします。

3月の開催につきましては、本日皆様にお諮りし、ご意見いただいた内容も踏まえまして、改定案を基にした骨子案の素案を事務局と支援事業者のほうでまとめてまいります。その上で5月頃からおそらく月1回ぐらいの開催になると思いますが、その内容に基づいて皆様のご意見等いただいて、最終案を作成していきたいと考えております。この協議会としての市への答申は9月頃にお出しいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○会長

次回第4回の協議会についての日程を決めさせていただきましたけれども、次回もWeb会議を予定しているということでよろしいです。

その他について、委員の皆様からも何かございますか。

それでは、全ての議事が終了いたしましたので、本日の協議会はここまでとさせていただきます。次回の開催案内は改めて事務局から通知いたします。

本日はこれで散会することとします。ありがとうございました。

以上